

令和2年度南薩地域保健医療福祉協議会議事

議事項目	カ 自殺予防対策について
概 要	<p>○ 自殺対策について</p> <p>自殺対策に係る関係機関の連携を図り、情報共有を図るため、関係機関（学校、病院、警察、消防等）の担当者を対象とした研修や連絡会等を行い、自殺対策について理解を深め、自殺未遂者等の支援方法のスキルアップを図った。</p> <p>1 自殺の現状</p> <p>(1) 国及び鹿児島県の状況（出典：人口動態統計） 我が国の自殺者数は、減少傾向にあり令和元年は、1万9425人（前年比607人減）となった。 本県は、平成18年の507人をピークに減少しているが、令和元年は285人（死亡率17.9（前年比27人増））となった。</p> <p>(2) 南薩地域の状況（出典：厚生労働省「地域における自殺の基礎資料」） 平成30年23人、令和元年29人、令和2年27人（速報値）。年代別自殺死亡率（平成27年～令和元年）を県と比較すると、男女ともに20歳代、30歳代、50歳代で県平均を大きく上回っている。</p> <p>2 令和2年度の取組</p> <p>(1) 教育関係者向けゲートキーパー養成研修会：参加者 中高等学校教員等23名 (2) こころのケアスタッフ養成研修会及びフォローアップ研修会 ：参加者 医療専門職51名 (3) 自殺対策連絡研修会：参加者 関係機関（病院、警察、消防等）38名 (4) 自殺未遂者支援連携体制事業：令和2年度支援件数 10件 ・管内精神科病院5カ所、救急告示医療機関8カ所に自殺未遂者支援状況についてヒヤリングを実施。 (5) 普及啓発活動 ・自殺予防週間街頭キャンペーン 新型コロナウイルス感染症拡大予防のため中止。 ・自殺予防週間、自殺対策強化月間に管内警察署へポスター掲示依頼や関係機関へチラシ、リーフレットを配布</p> <p>3 令和3年度の方針</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業は令和2年度に引き続き実施。 ・若年層へより効果的な支援ができるよう、対象者に応じ教育委員会や市と役割を明確にし、研修会等を実施する。 ・コロナの経済的影響から生活困窮者の増加が予測されるため、生活困窮者支援を行う関係者を含めたより包括的な支援連携体制の強化を図る。
担 当	<p>地域保健福祉課 地域支援係 （上室・坂田） 連絡先：0993（53）8001</p>